

誰でも再チャレンジできる社会の実現に向けて

参考資料3

(再チャレンジの試み)

- ・フリーターをしているが、やりたい仕事がある
- ・事業に失敗したが、再起したい
- ・退職したが、これまでの経験を活かしたい
- ・

(再チャレンジの問題点)

- ◀…………▶ 就業の機会に乏しい
- ◀…………▶ 資金調達が困難
- ◀…………▶ 活躍するための機会や情報が不足
- ・



～ 再チャレンジ支援策 ～

- ・再チャレンジを可能とする柔軟で多様な社会の仕組みの構築
→ 人生の複線化(働き方の複線化、学び方の複線化、暮らし方の複線化)
- ・個別の事情に応じた再チャレンジ支援策



再チャレンジ可能な社会

- ・勝ち組、負け組を固定しない社会
- ・人生の各段階で多様な選択肢が用意されている社会

再チャレンジ推進会議で検討中の施策

若者の再チャレンジ支援

- 「年長フリーター」の再チャレンジ支援
「就職氷河期」の間に不本意な就職をしたままの若者正社員や、不本意ゆえ離職を繰り返す「年長フリーター」に対し、キャリアコンサルティング等を実施
- 新卒一括採用システムの見直し
* 企業の採用・人事制度の柔軟化(フリーター等にも門戸を広げる複線型採用導入、採用年齢引き上げ)
* 国家公務員の中途採用拡大(フリーター等にも就職の機会を与える)
- 地域における子どもへの学習支援
家庭の経済力にかかわらず、子どもが放課後や週末等に学習できる機会を提供

現役世代の再チャレンジ支援

就業

- 正規・非正規労働者間の均衡処遇
* 有期労働契約を巡るルールの明確化 * パート労働者と正規労働者との均衡ある処遇
* パート労働者への社会保険の適用拡大 * 非正規労働者の正規労働者への転換制度の導入 等
- 女性の再就職支援
一度離職した女性の企業による積極的活用を促進

事業

- 再チャレンジ創業の資金調達支援
経営者の資質や事業の見込み等の評価に基づく融資等の枠組みを創設
- 個人保証に過度に依存しない融資の推進
個人保証を締結する際の客観的合理的理由を金融機関に説明させることを徹底、融資手法の多様化の取組を推進するよう金融機関に要請

教育

- 大学等における社会人の学び直しの推進
社会人が学び直せる実践的な教育コースや講座の開設支援、社会人が一定の科目を学んだ成果に対し履修証明を付与
- 地域の生涯学習施設、大学、企業等が連携したワンストップサービス構築
再就職や起業に関する相談・情報提供や教育・訓練機会を1つの窓口で提供

高齢者・団塊世代の再チャレンジ支援

- 経験を活かした子どもへの教育支援
退職教員、研究者、技術者等を理科の指導助手や「モノ作り博士」として小中学校に配置・派遣
- 簡易な資格制度の創設・拡充
「教育サポーター」「介護サポーター」等の簡易な資格制度を創設・拡充し、高齢者等の活躍の場を拡大
- U・Iターン者への職・住等の提供
* U・Iターン希望者への情報発信、人材の登録
* “人生2毛作”(定年帰農)… 仕事で培った能力を活かしながら田舎で活躍できる場を提供